

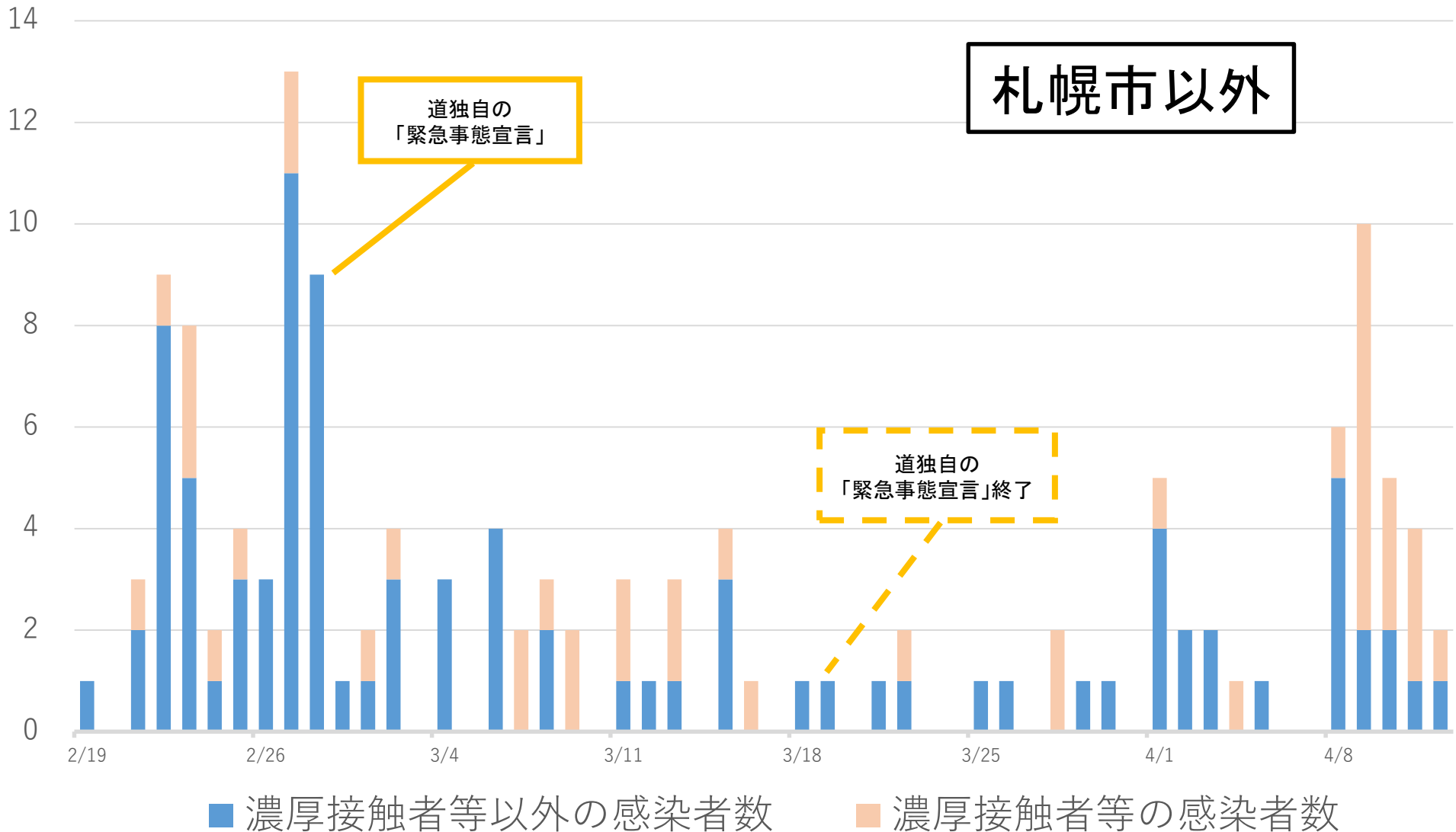
**(参考資料)**

# 項 目

- 1. 新規感染者の発生状況**
- 2. 人口変動状況と他県の状況**
- 3. 道民の行動変容**
- 4. 感染者数の推移**
- 5. 患者数・宿泊療養者数の推移**
- 6. 経済動向**
- 7. 相談・検査件数等の推移**

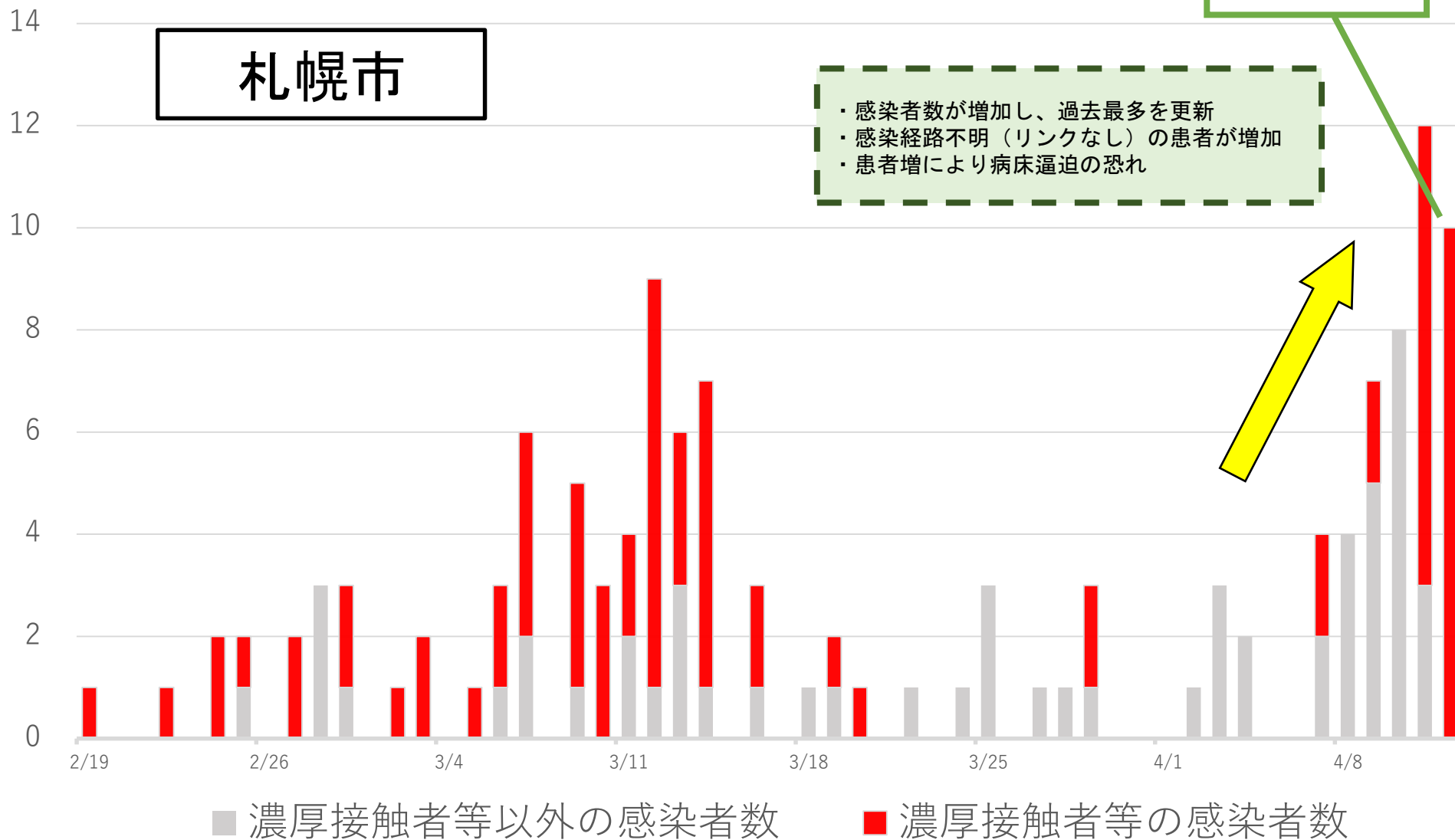
# 1. 新規感染者の発生状況①

## 2/19～4/12の新規感染者数の推移



# 1. 新規感染者の発生状況②

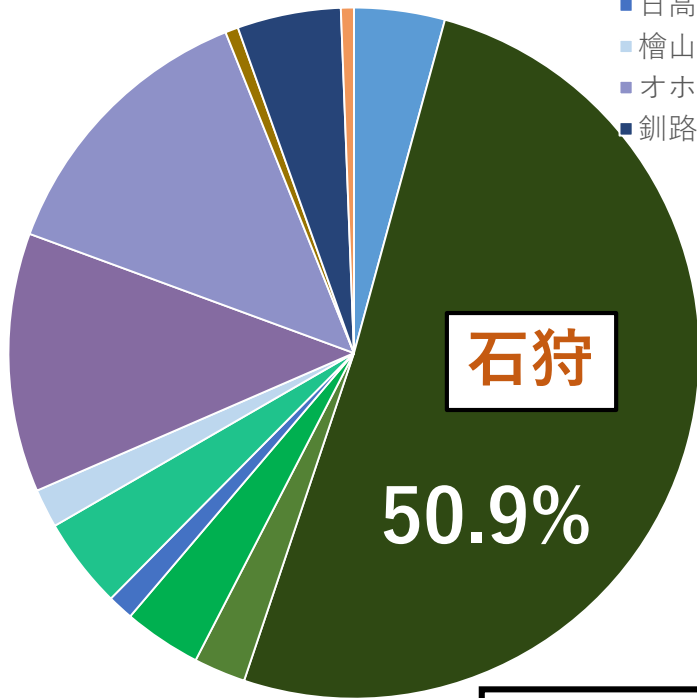
2/19～4/12の新規感染者数の推移



# 1. 新規感染者の発生状況③

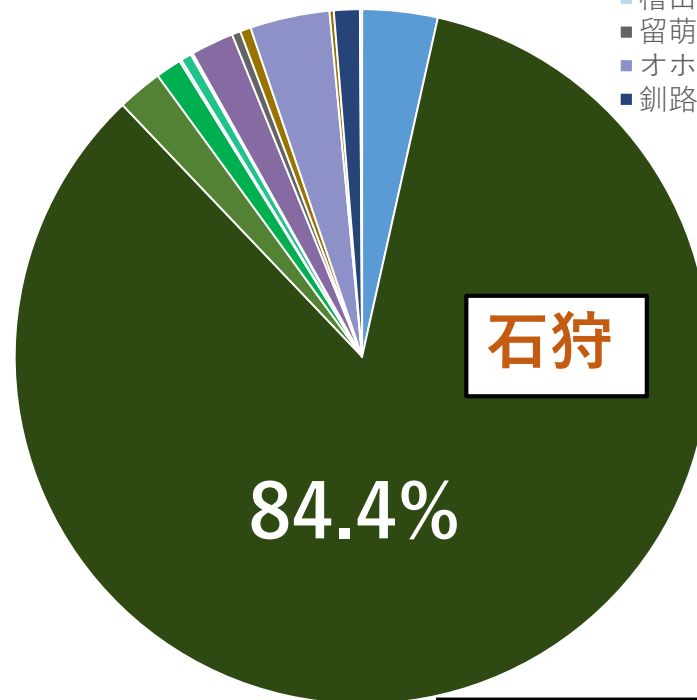
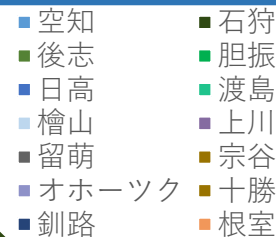
- 第1波では、石狩振興局管内の感染者は約半数であり、全道に感染が広がっていた。
- 第2波では、石狩振興局管内の感染者は8割を超え、札幌を中心とする都市圏での感染拡大が特徴となった。

## 第1波



全道165人のうち  
石狩管内が84人

## 第2波



全道999人のうち  
石狩管内が843人

# 2. 人口変動状況と他県の状況

## 人口変動状況

※いずれも感染拡大以前との比較

	4月18日(土)	4月19日(日)
札幌駅	▲55.7%	▲68.8%
東京都銀座	▲70.9%	▲75.0%
東京都新宿	▲80.2%	▲79.9%
神奈川県横浜駅	▲77.5%	▲77.0%
愛知県名古屋駅	▲73.0%	▲77.6%
大阪府梅田	▲84.1%	▲86.9%
京都府京都駅	▲70.3%	▲72.2%
福岡県天神	▲72.1%	▲77.7%

出典:NTTドコモ(モバイル空間統計)

## 他県での導入状況

※特定警戒都道府県

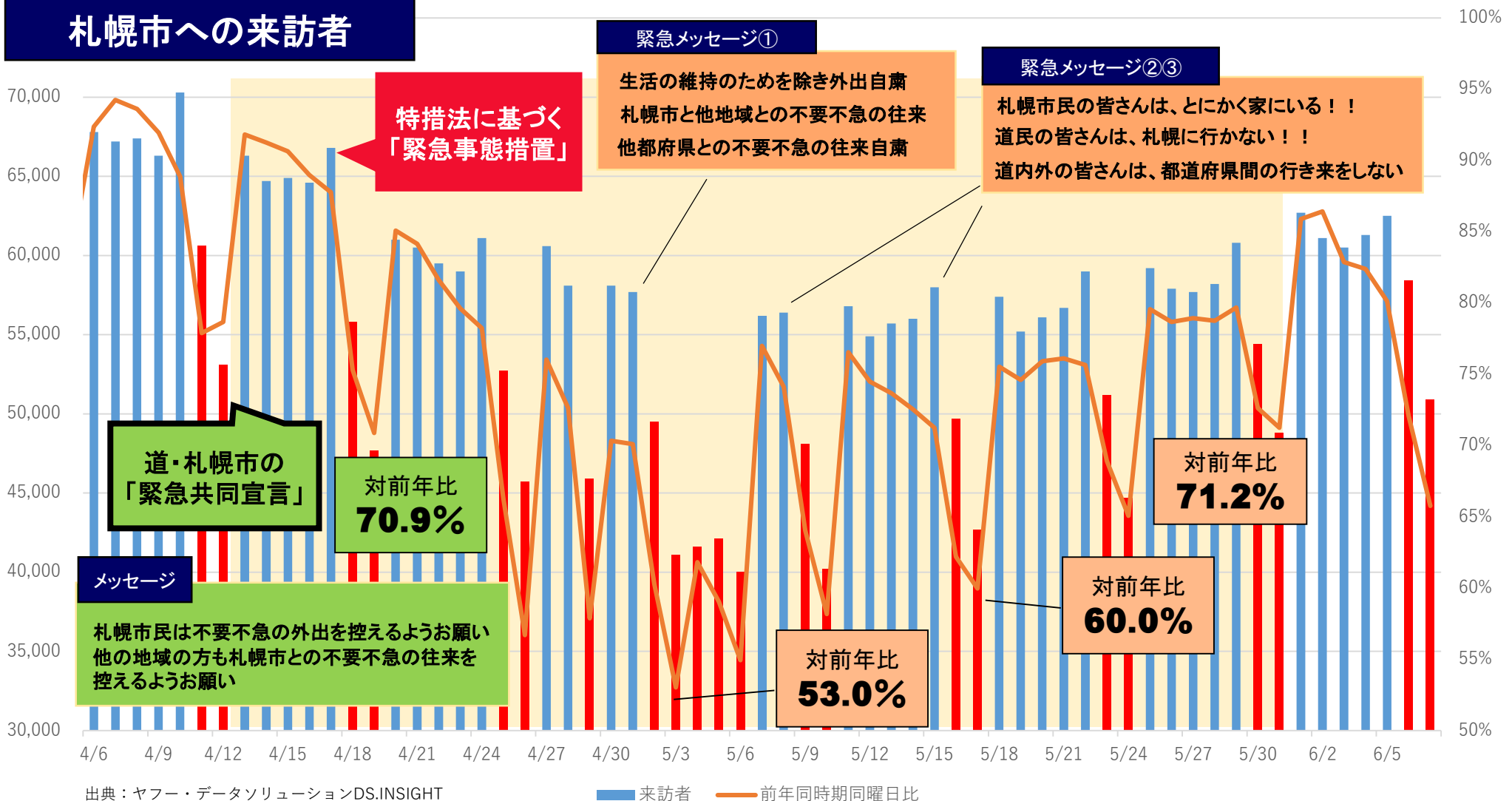
※○印は4月7日の緊急事態宣言の対象地域)

自治体	時期	措置内容
東京都	○ 4月11日～	遊興施設、大学・学習塾、運動・遊技施設、劇場等、集会・展示施設、商業施設等
千葉県	○ 4月14日～	
埼玉県	○ 4月13日～	
神奈川県	○ 4月11日～	
大阪府	○ 4月14日～	
兵庫県	○ 4月15日～	
福岡県	○ 4月14日～	
茨城県	4月18日～	
石川県	4月21日～	
岐阜県	4月18日～	
愛知県	4月17日～	
京都府	4月18日～	

# 3. 道民の行動変容①

- 外出自粛や休業要請等の後、札幌市への来訪者は減少。
- GW時に大きく減少し、その後、減少率は縮小傾向が見られた。

## 札幌市への来訪者



# 3. 道民の行動変容②

■道内各地においても、人の流動化は減少。都道府県間の全国的な往来自粛を踏まえ、新千歳空港における減少率が最も大きくなった。

4月26日(日)		5月3日(日)		5月24日(日)		6月7日(日)	
札幌駅	▲68.1%	札幌駅	▲83.1%	札幌駅	▲76.7%	札幌駅	▲14.8%
すすきの	▲59.2%	すすきの	▲67.2%	すすきの	▲64.7%	すすきの	▲43.4%
新千歳空港	▲76.1%	新千歳空港	▲85.6%	新千歳空港	▲75.0%	新千歳空港	▲65.3%
旭川駅	▲62.7%	旭川駅	▲66.1%	旭川駅	▲55.7%	旭川駅	▲42.6%

いずれも感染拡大以前との比較(5月3日のみ前年GW平均との比較)

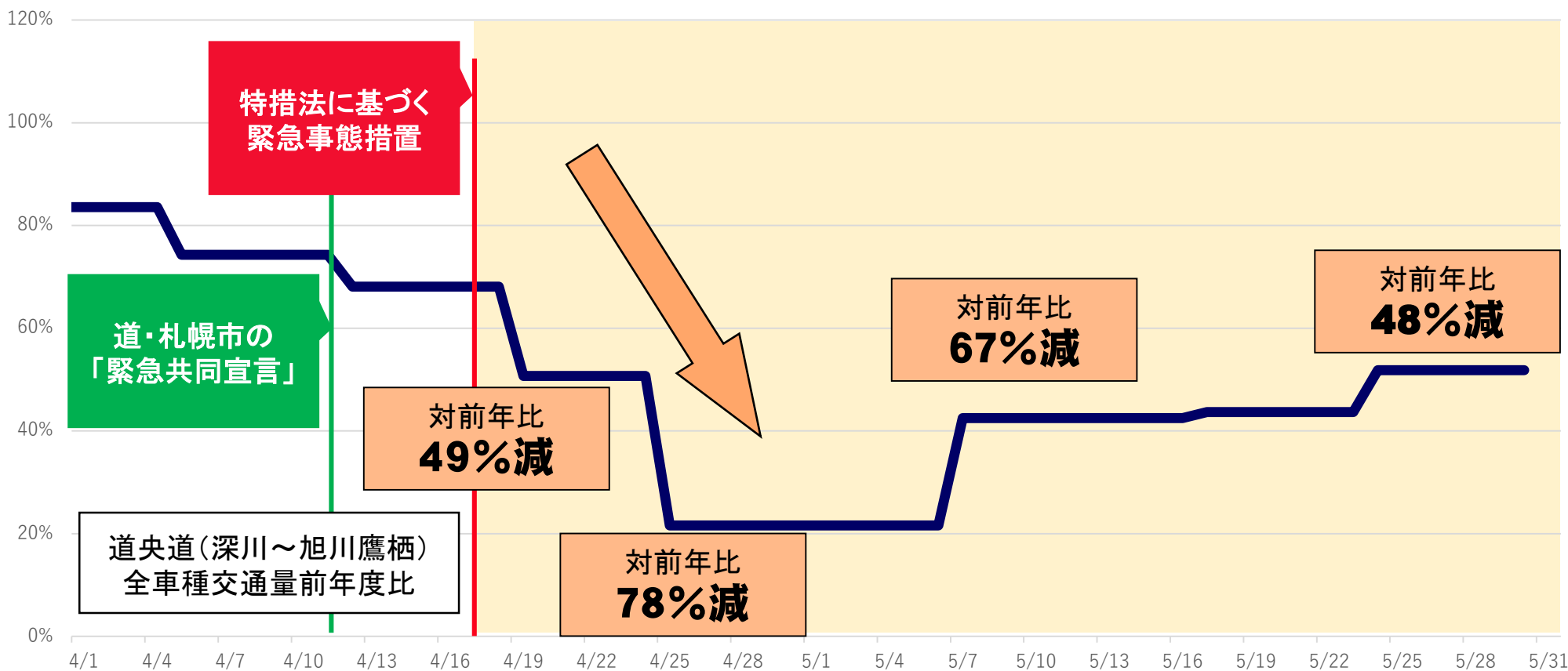
出典:NTTドコモ(モバイル空間統計)



# 3. 道民の行動変容③

■外出自粛等の要請後、交通量も大きく減少。その後、徐々に増加が見られた。

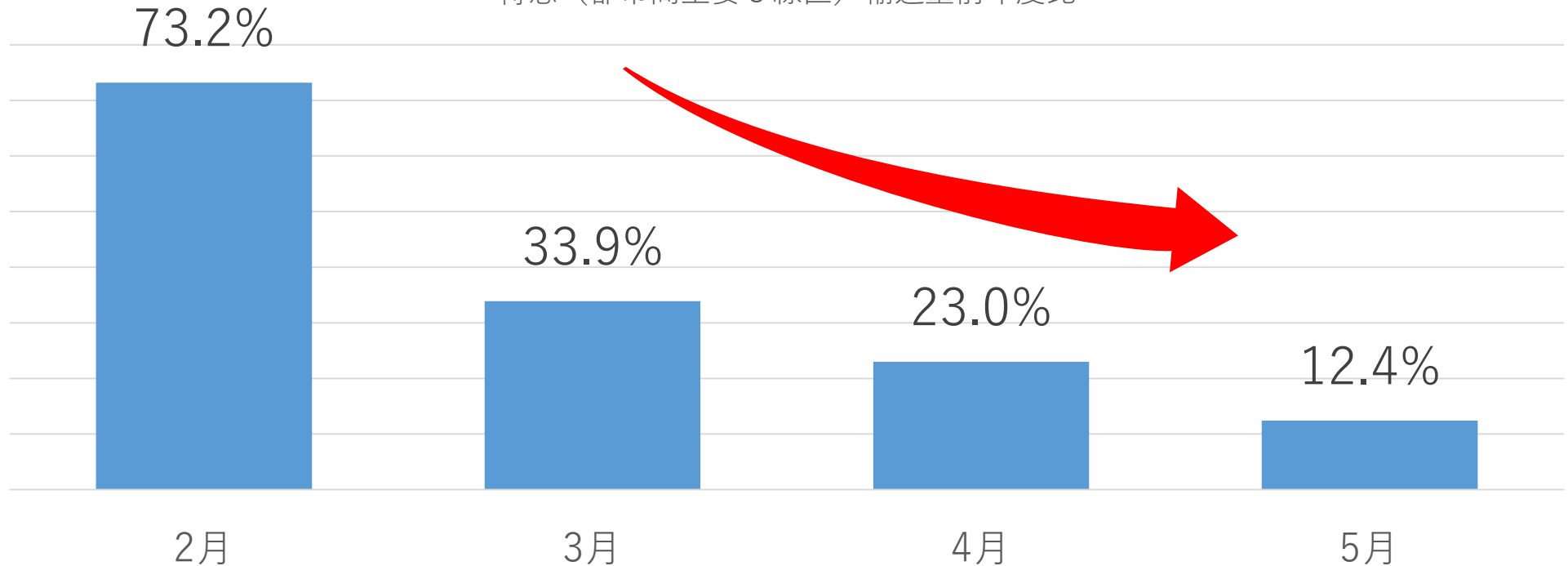
## 道央道の交通量



# 3. 道民の行動変容④

■道内の都市間主要3線区の輸送量も大幅に減少。

特急（都市間主要3線区）輸送量前年度比

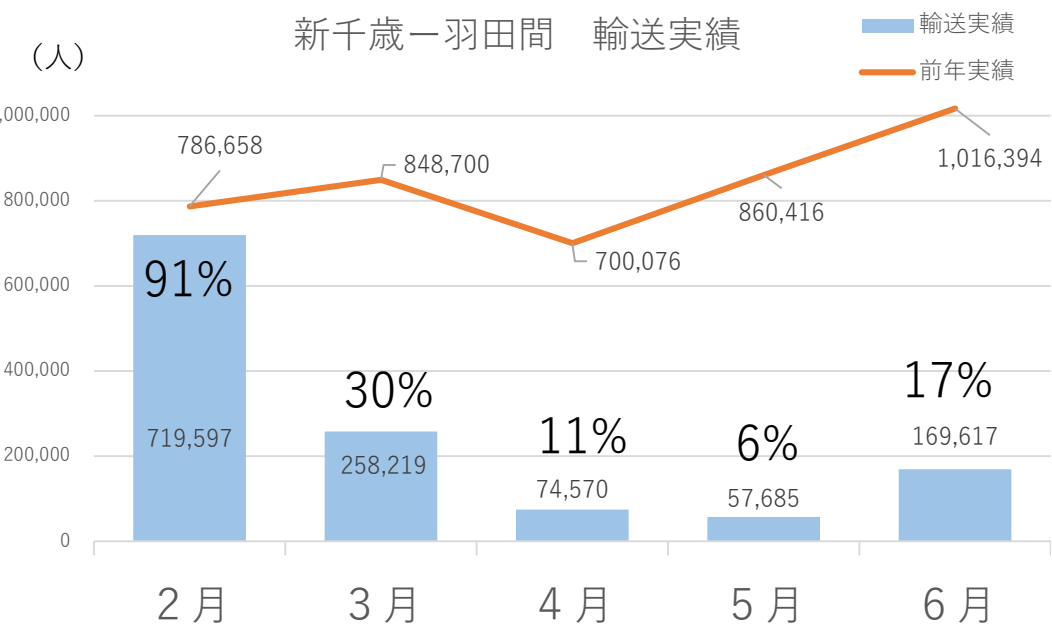


主要3線区：東室蘭～苫小牧、南千歳～トマム、札幌～岩見沢  
北海道旅客鉄道株式会社からの提供データに基づき道が作成

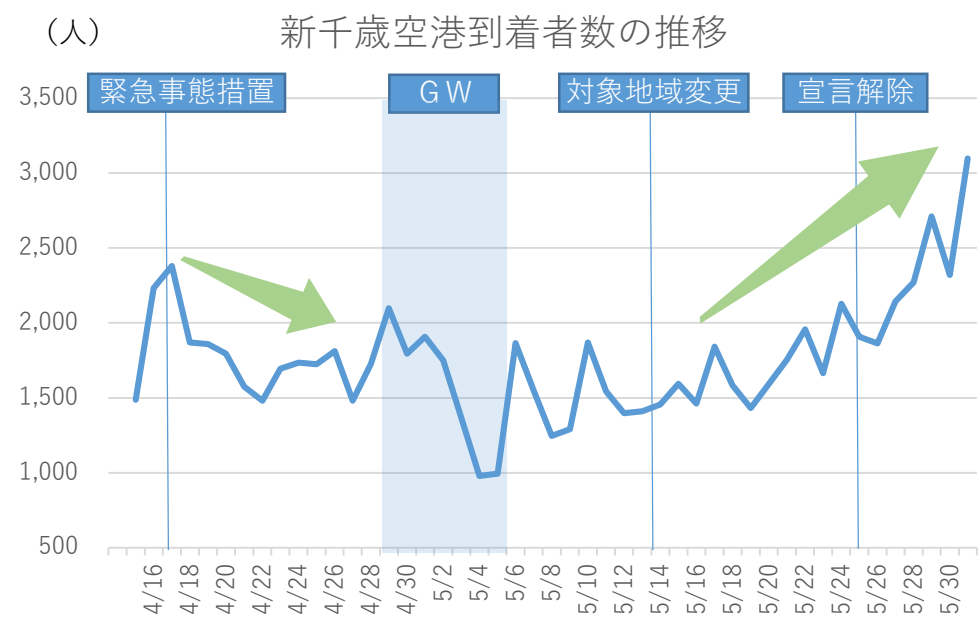
# 3. 道民の行動変容⑤

■本道と他都府県との往来は大幅に減少。特に5月は前年比94%減少。

■新千歳空港到着者数は、4月の道の緊急事態措置後からGWにかけて緩やかに減少。国が緊急事態宣言の対象区域を一部解除した5月16日以降から増加傾向。



(北海道調べ)

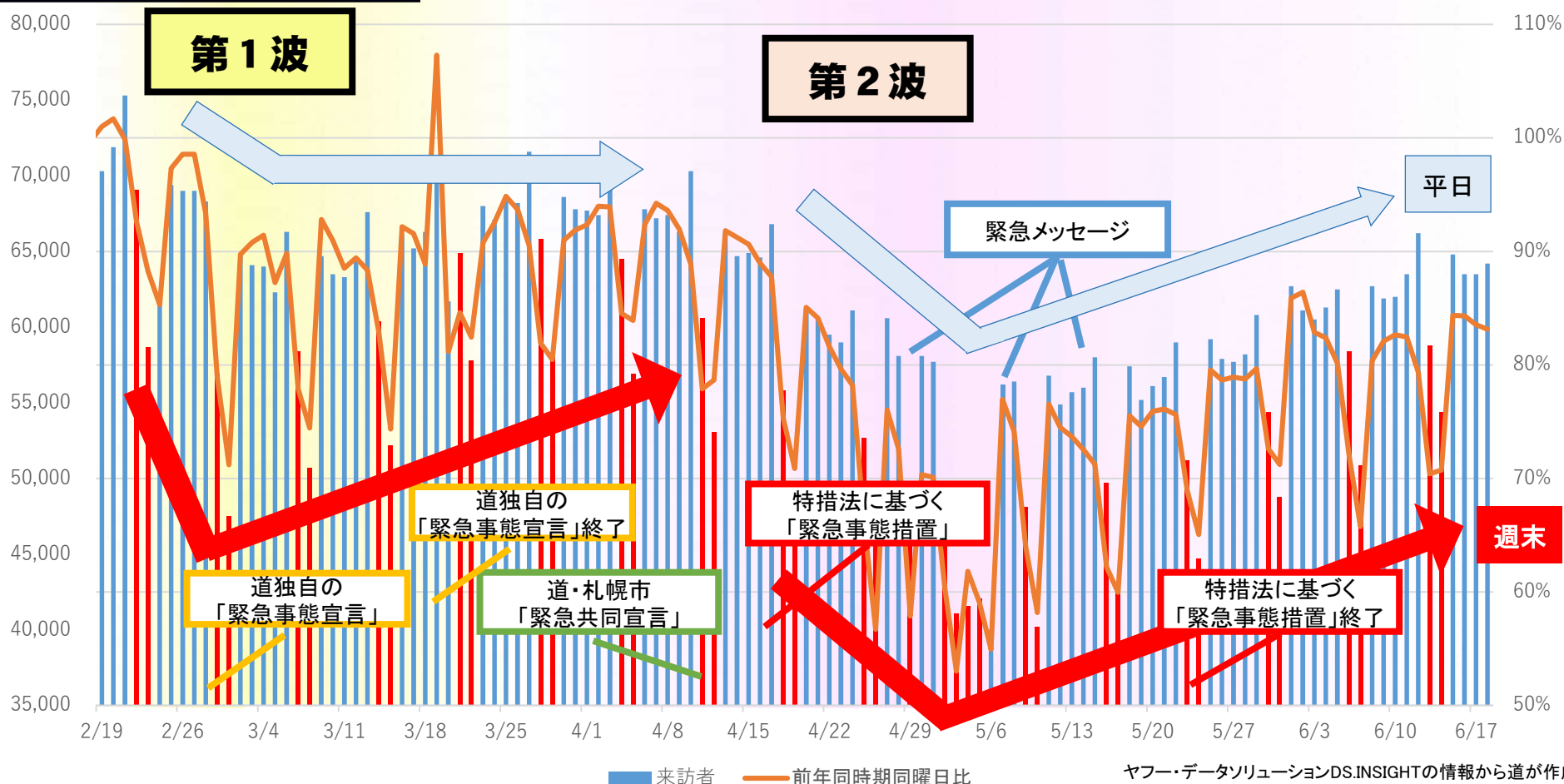


(北海道調べ)

# 3. 道民の行動変容⑥

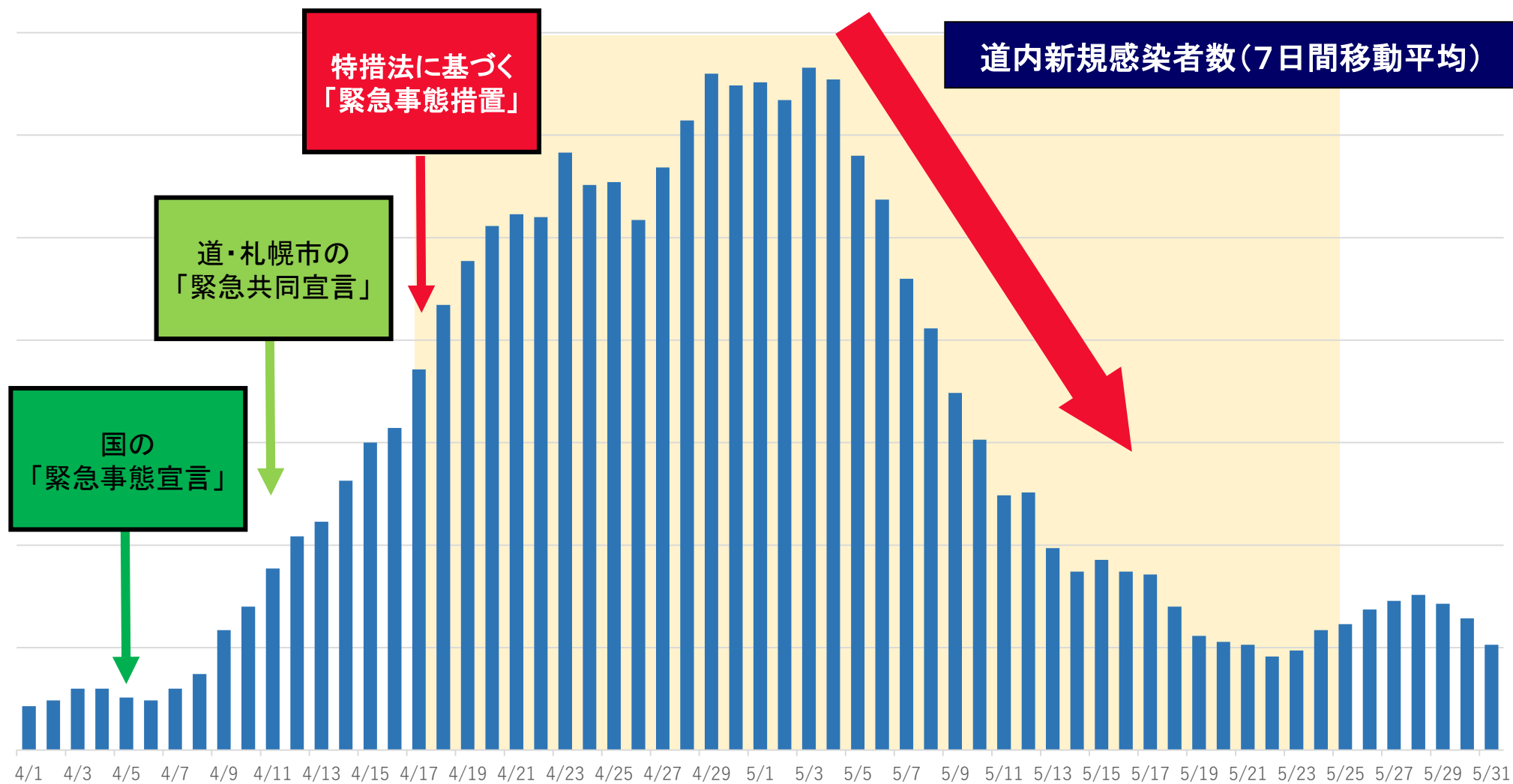
- 全体を通して「週末」に大きく減少したが、第2波の際は減少幅も大きく、「平日」にも大きな減少が見られた。
- 道独自の緊急事態宣言、特措法に基づく緊急事態措置などのメッセージ発出後に減少幅は大きくなり、次第に増加傾向となった。

## 札幌市への来訪者



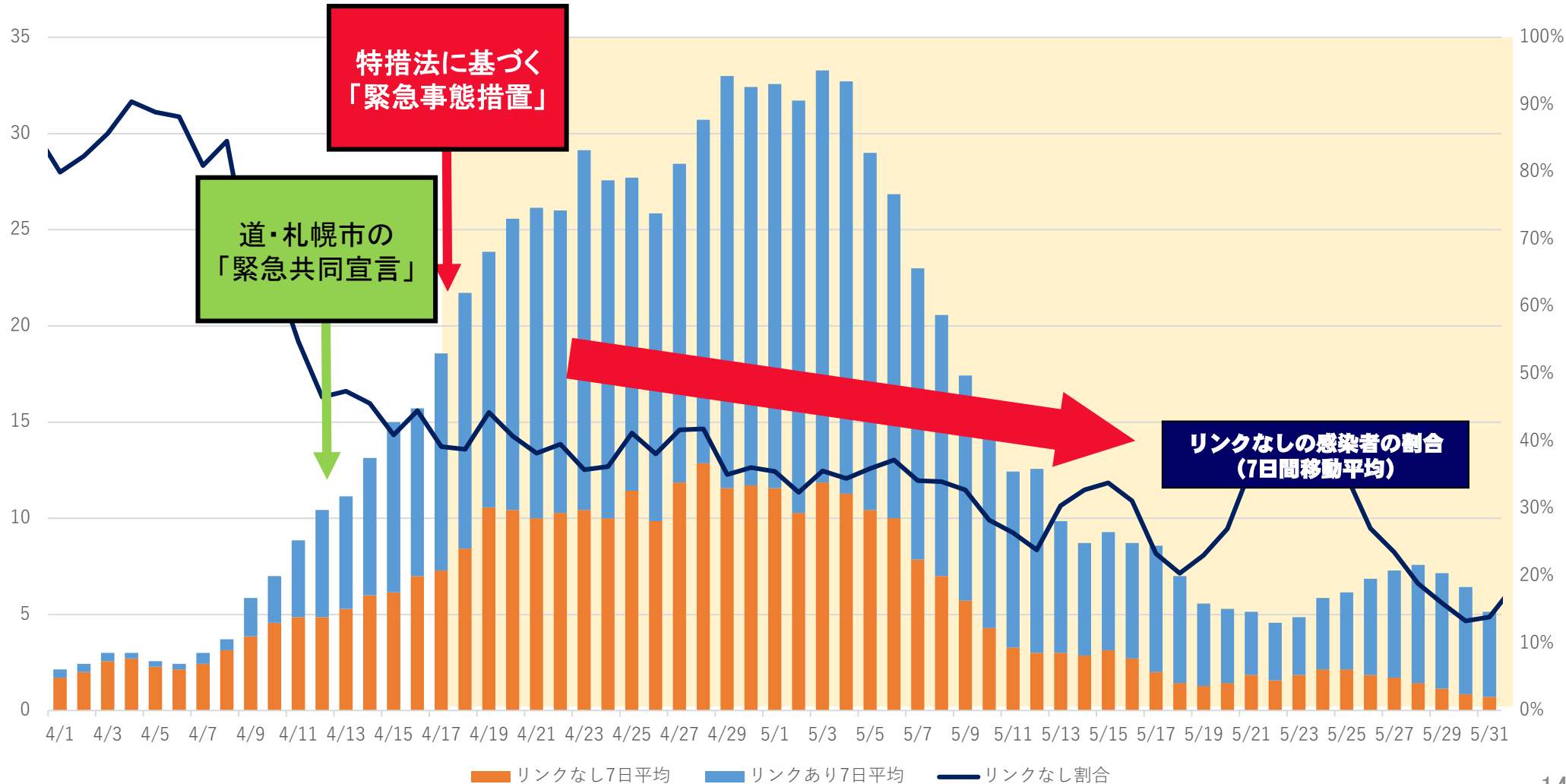
# 4. 感染者数の推移①（新規）

■ 緊急事態措置から一定期間経過後、新規感染者が減少傾向となった。



# 4. 感染者数の推移②（リンクなし）

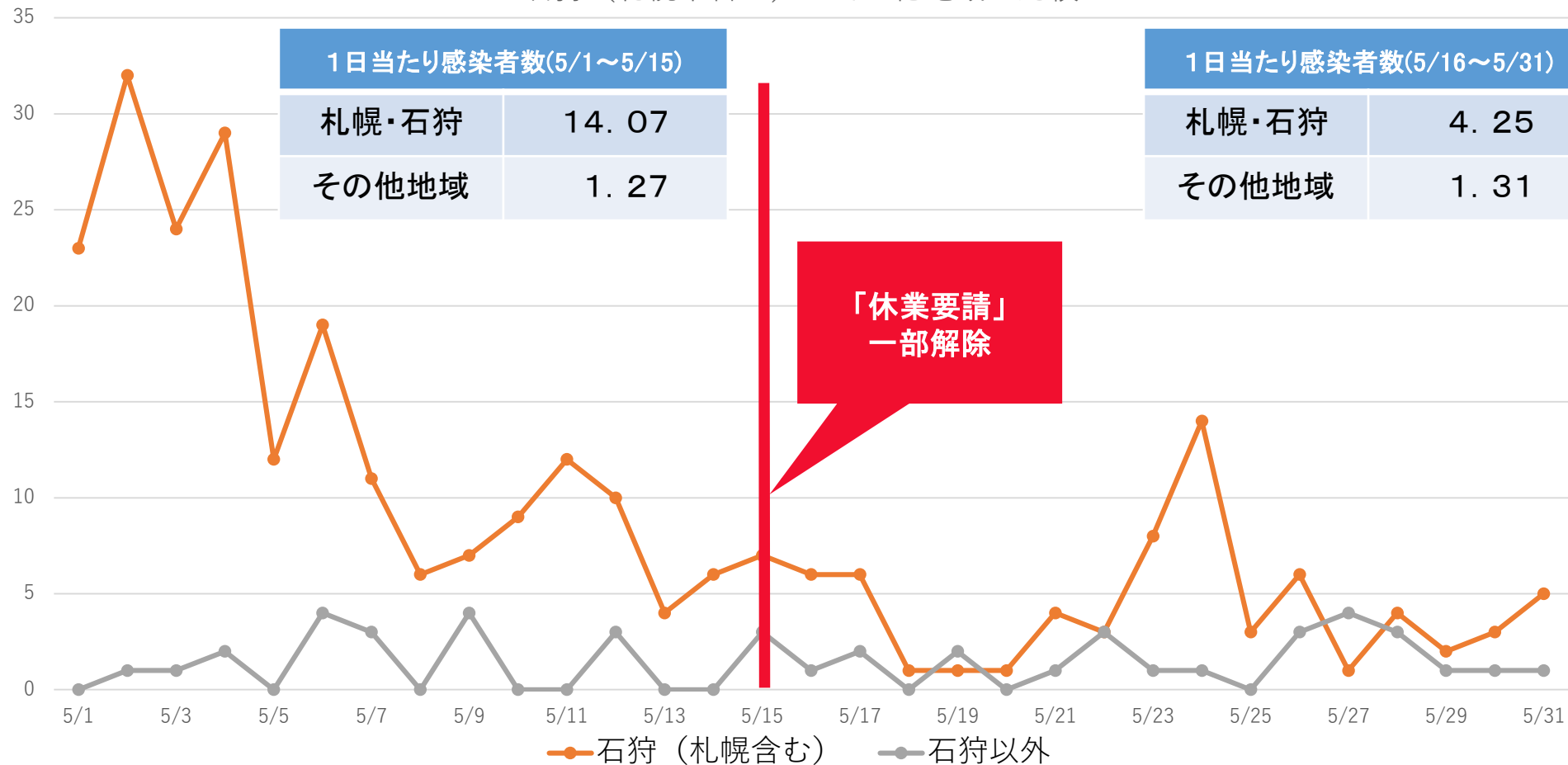
■積極的疫学調査の実施や道民、事業者の行動変容により、「リンクなし感染者」は半数以下で推移。



# 4. 感染者数の推移③ (地域別)

- 5月15日に石狩振興局以外の地域における休業要請を一部解除。
- 同時に、札幌との往来自粛を改めて要請。
- 休業要請の解除後においても、石狩振興局以外の地域における新規感染者の増加は見られなかった。

石狩（札幌市含む）とその他地域の比較



## 4. 感染者数の推移④（専門家の見解）

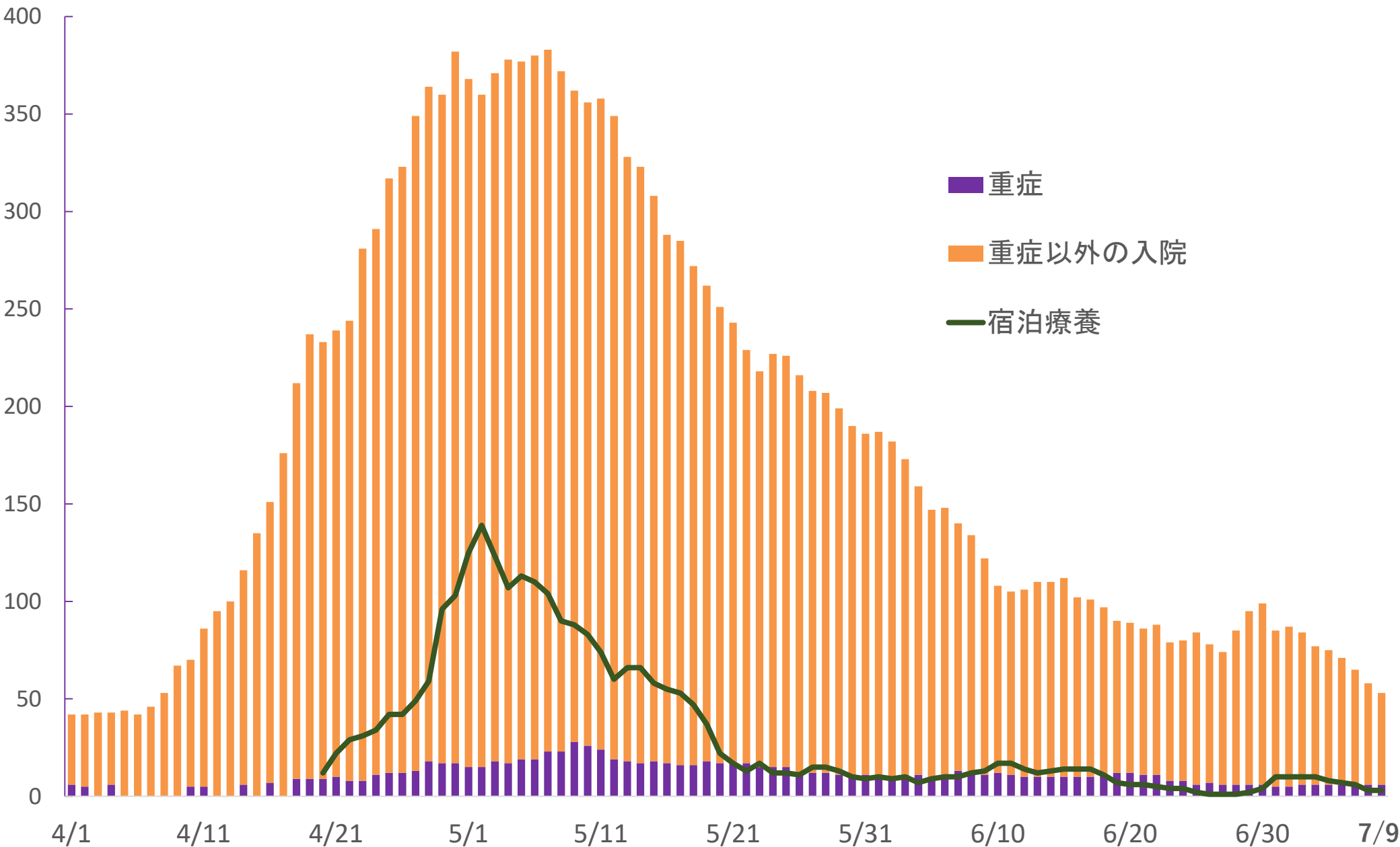
■ 緊急事態宣言による以下のような変化を通じて、新規感染の抑制に貢献した可能性が高い。

- ① 感染者と感受性がある(感染する可能性がある)人との接触機会が継続して抑制され、その減少が維持された可能性
- ② 集団感染が発生しやすい場所・施設において、外出自粛要請及び施設の使用停止の協力要請や使用制限との組み合わせにより実効的に新規感染が抑制された可能性
- ③ 感染拡大は大都市圏から地方へと波及する傾向にあったが、緊急事態宣言により域外への外出自粛を要請することで、人の移動が抑制され、大都市圏内の感染拡大だけでなく、地方都市への感染拡大に歯止めがかけられたこと
- ④ 4月16日から5月14日までは全国が対象となり、国と連携して、全国の都道府県知事の下、一体となって対策が推進されたこと

などが挙げられる。



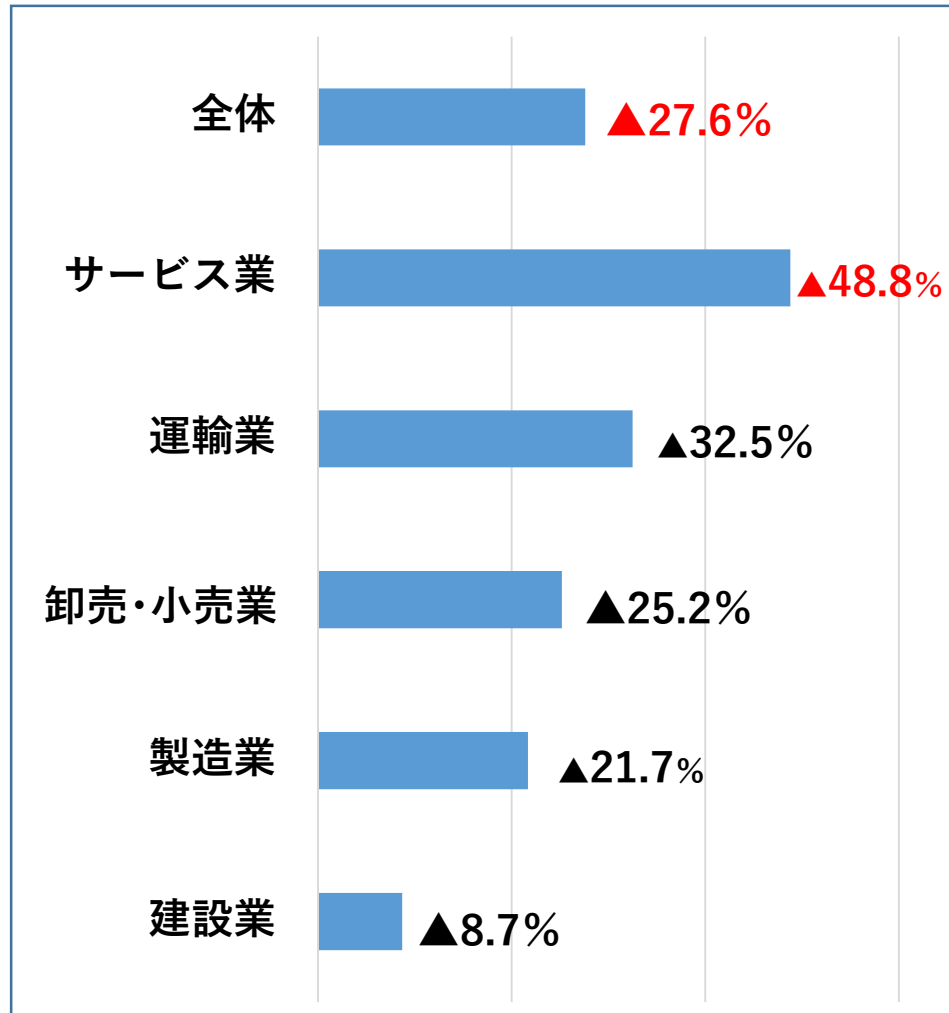
# 5. 患者数・宿泊療養者数の推移



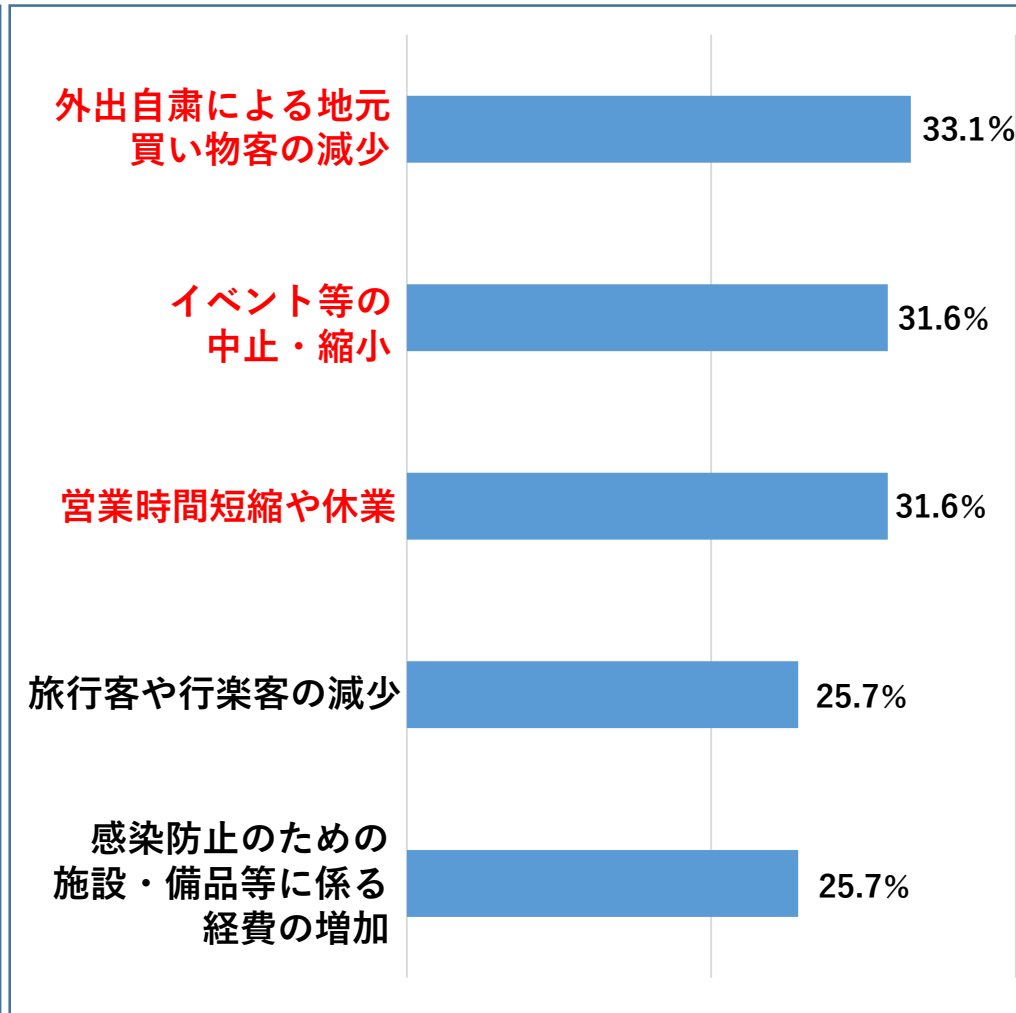
# 6. 経済動向①

■ 本年2～5月における売上の前年同期比減少率の平均は、全体でマイナス27.6%、業種別では、サービス業がマイナス48.8%と最も減少率が大きくなっている。

■ 令和2年2～5月における売上の前年同期比 減少率

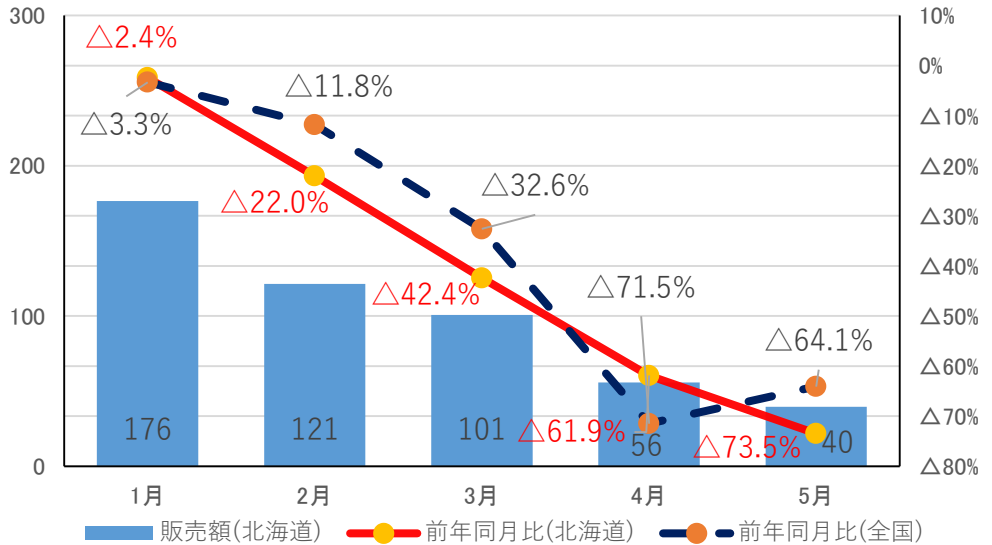


■ 売上・利益等が減少した場合の具体的要因

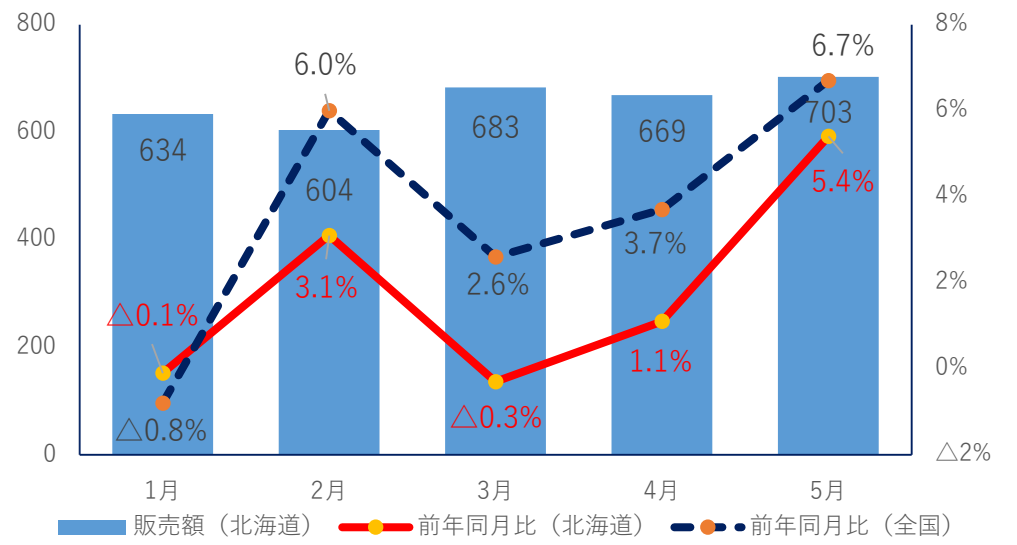


# 6. 経済動向②

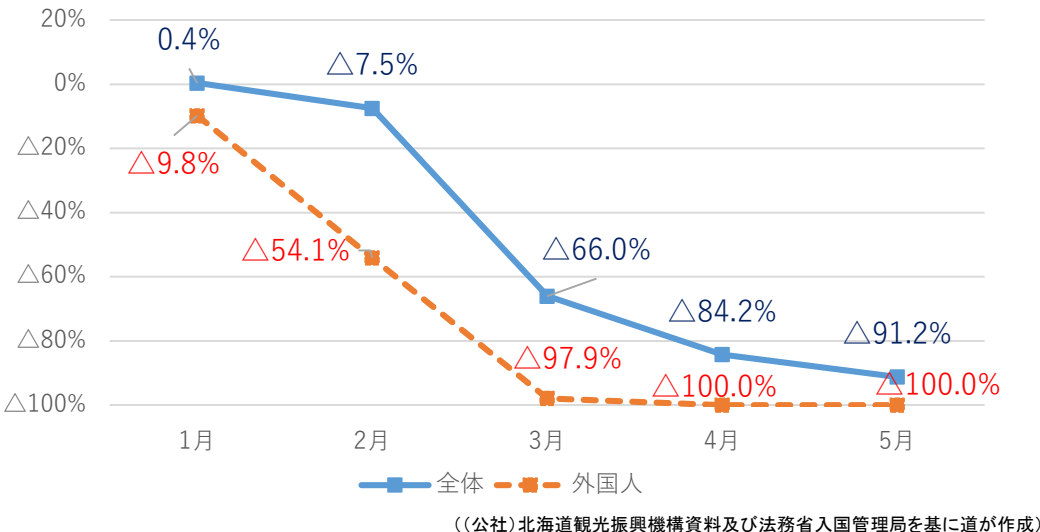
## 百貨店販売額 (5月)



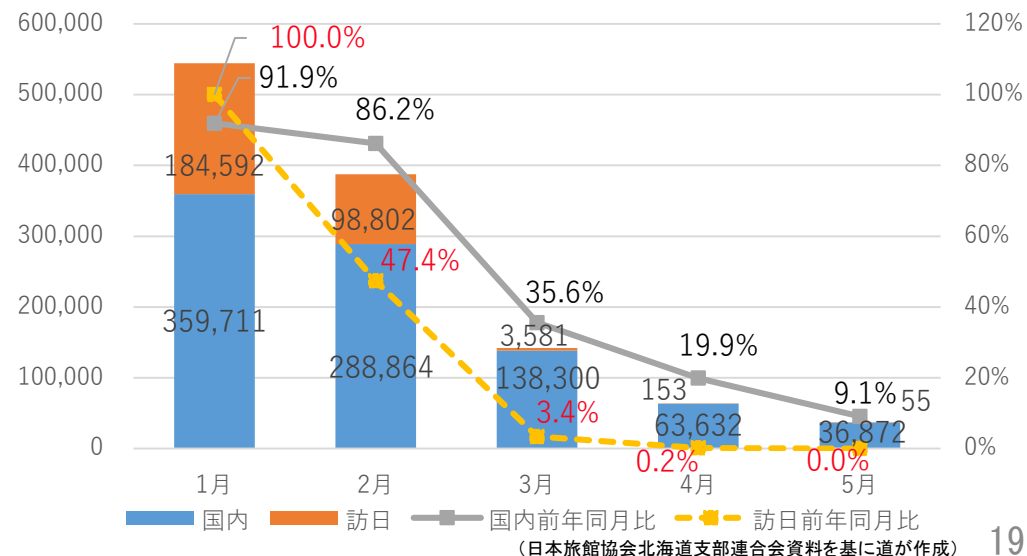
## スーパー販売額 (5月)



## 前年同月比来道者数 (5月)



## 宿泊実績 (5月)

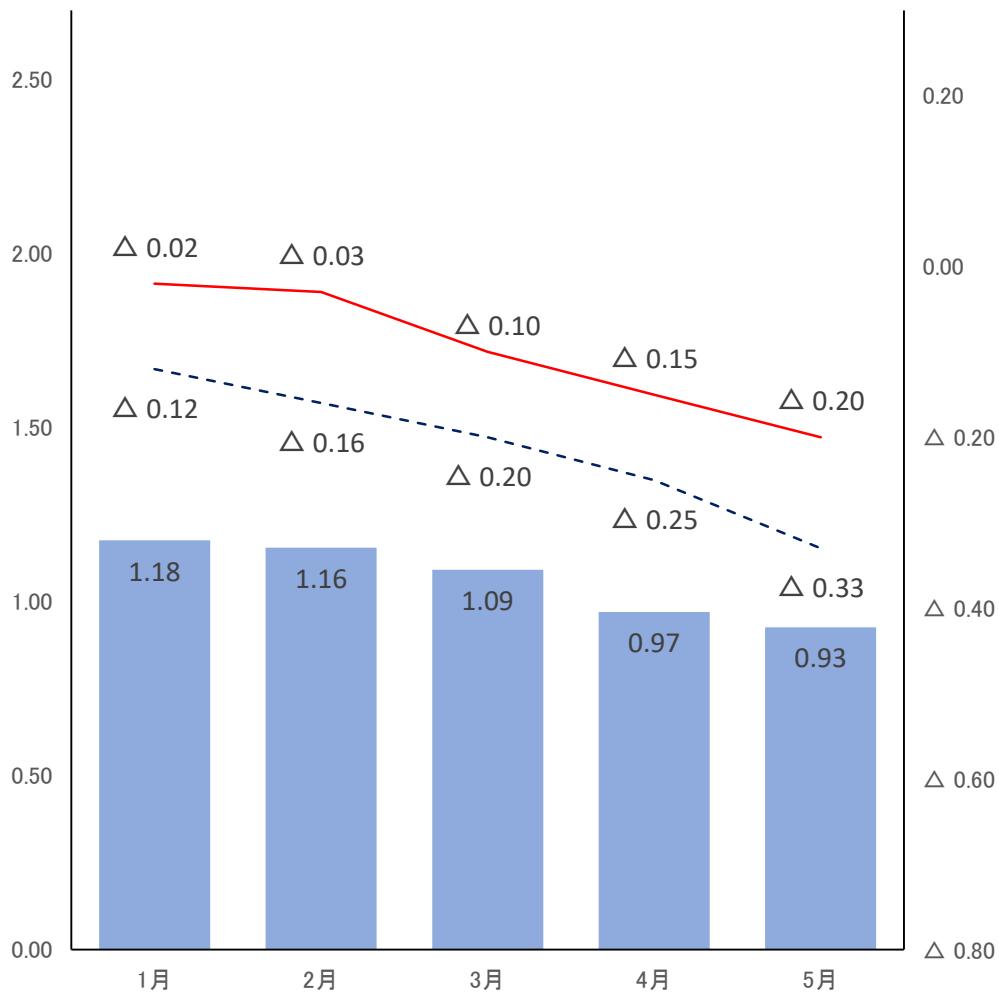


# 6. 経済動向③

月間有効求人倍率（5月）

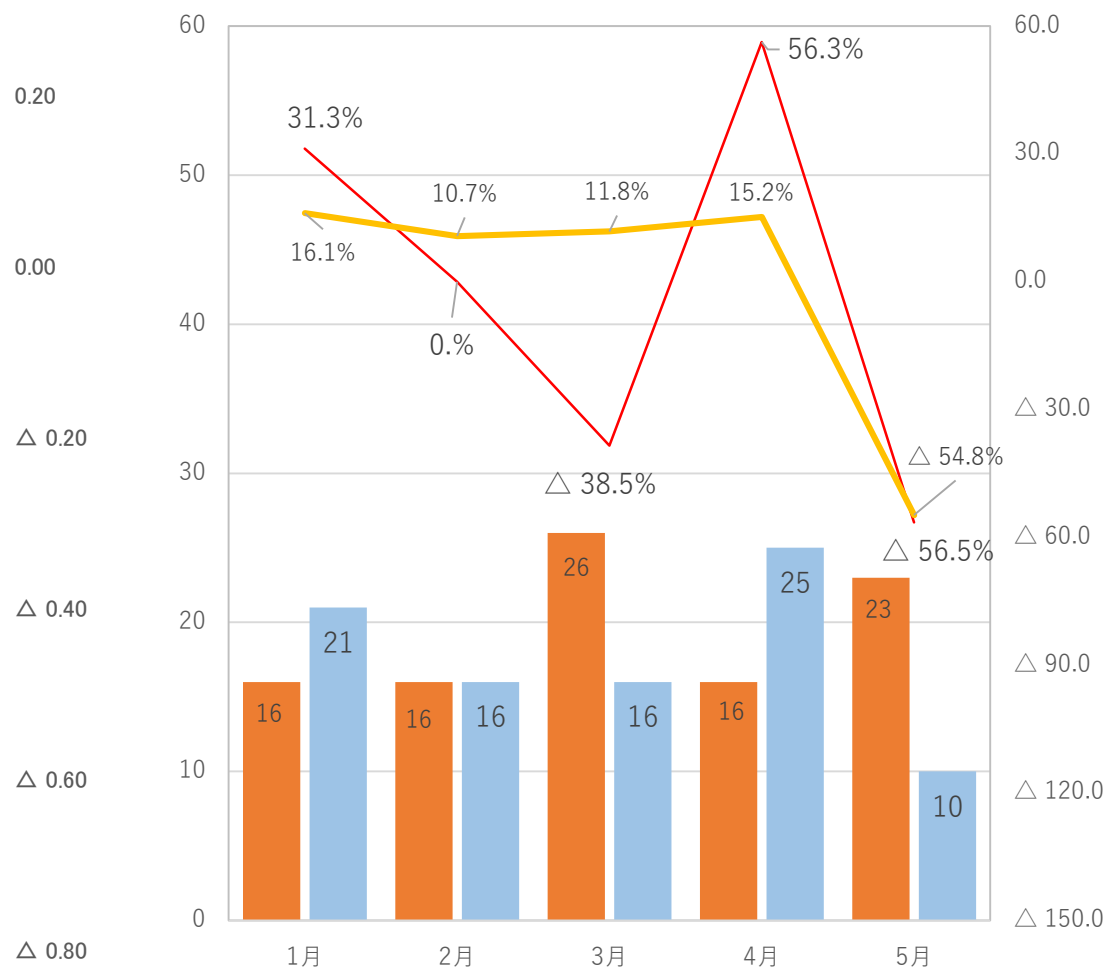
（前年同月差：ポイント）

倒産件数（5月）



■ 月間有効求人倍率 ■ 前年同月差(北海道) - - - 前年同月比(全国)

（北海道労働局資料を基に道が作成）



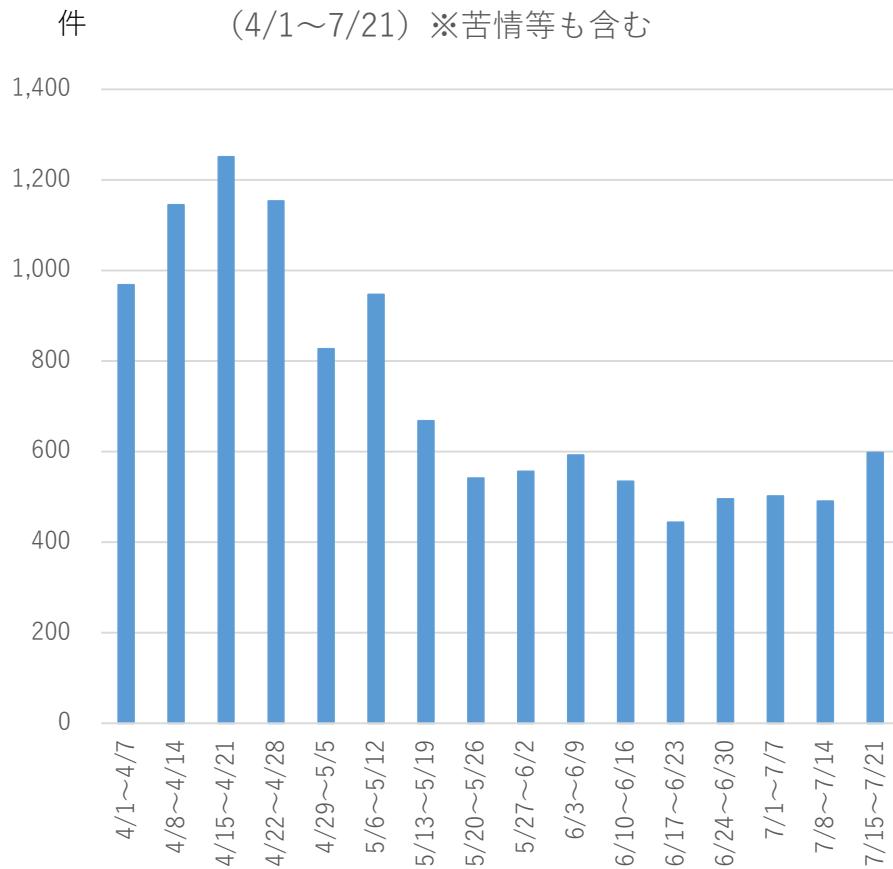
■ 企業倒産件数(前年) ■ 企業倒産件数  
 ■ 前年同月比(北海道) ■ 前年同月比(全国)

（(株)東京商工リサーチ北海道支社資料を基に道が作成）

# 第2波における検査体制等の整備③

## 感染拡大の兆候の早期発見

電話相談窓口における  
相談件数の推移<全道>  
(4/1~7/21) ※苦情等も含む



検査数及び陽性率の推移 (4/1~7/21)

